



【校章の由来】

春富中学校建設事業が具体化するや、市町村教育委員会は、昭和37年8月、校章図案を公募、応募点数約200点を審査の結果、伊那市上新田出身、山梨県山梨市歌田在住の日本画家山口哲治氏の作品を最適と認め、昭和37年10月これを採用と決定する。

審査員・・・教育長、教育委員、三校長、三校美術教師

「中」を囲む三つの鋭角は、四周の峻厳な山々に対面して生活する郷土の風土性を抽象化し、これをだきかかえる三つの平らなM字型は、毛利元就の三人の師弟に訓す三本の矢の古事より三つの矢羽根を示し、三地区の確固たる協力体制のもと春富中学校の限りなき発展と栄誉を願望するものである。